

2024年10月23日

各位

「ジュリオ株式会社」への出資について

NOBUNAGAキャピタルビレッジ株式会社（代表取締役 峠 清孝、以下「当社」といいます。）が運営するファンド（以下「本件投資情報」ご参照）は、ジュリオ株式会社（代表取締役 姥貝 賢次）に出資しましたので、お知らせいたします。

出資については、

- 「財務を知り尽くしたAI開発」を掲げ、専門性の高い財務領域とIT技術の融合により生まれた「生成AI」を活用し、1案件ごとに丁寧に課題解決までを支援していく姿に共感したこと
- 公認会計士および公認不正検査士の資格を持つ代表の姥貝氏の開発するAIサービスは、財務分野の作業効率に加え、リスク回避という新しい価値を同時に提案できると期待すること
- ジュリオ社との連携により、東海エリアの中小企業が抱える多様なニーズや課題に対して、生成AIを活用した新しい解決策を提案できると期待すること
など地域経済および地域企業に新たな価値を提供していくことが今後期待されるため、下記のとおり出資いたしました。

当社は、これからも、成長が期待できるスタートアップ企業への投資を通じて、地域経済と地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

記



□ 本件投資情報

対象ファンド	NOBUNAGA Raise Fund 投資事業有限責任組合
出資形態	株式の引受

□ ジュリオ株式会社について

ジュリオ株式会社は、生成AIに関連するコンサルティングからシステム開発まで一貫した取り組みを行っています。AIにより数値・定性データを組み合わせ、財務・金融業務をAIで自動化します。公認会計士やAIエンジニアが協力し、金融や財務のニーズに合わせたAIシステムを提供します。

□ 生成 AI コンサルティングについて (<https://www.jurio.jp/ai-consulting>)

1. 現状分析・現状把握

- 財務業務の分析
- 現状のAI出力の課題の整理
- プロンプト戦略の策定



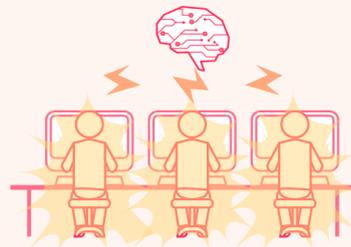
2. プロンプト最適化と導入

- 財務特化型プロンプトの開発
- 段階的な導入とフィードバックループの構築
- AIツールの選定とカスタマイズ



3. 組織への定着と継続的改善

- AIリテラシー向上のための研修プログラム実施
- 業務プロセスへの組込の確立
- 効果測定と継続的な改善サイクルの確立



□ 生成 AI システム開発について (<https://www.jurio.jp/>)



ビジネスモデル分析AI

数値情報や企業の資料、経営者へのインタビュー議事録から、企業のビジネスモデルを多角的に分析・評価することが可能です。



請求書などの資料解析

請求書や証憑から自動でデータ化。さらに資料の内容から情報を解析し、仕訳候補を自動で特定しサジェスト。



経理の消込ノウハウAI化

過去の消込履歴やその時の対応時のメモを元に、属人化しがちな消込時のノウハウをマニュアルにし、AI化することが可能です。



仕訳データとの照合

仕訳データを突合し、重複している仕訳データを自動で検出します。このにより、効率的に重複データを特定することが可能です。



有価証券報告書のレビューAI

企業情報や、財務情報、コーポレートガバナンスの文章をAIがレビュー。大量のデータを迅速にチェックし作業工数を短縮可能。



入手資料の自動分析/解析

入手資料を自動で文字起こしし、事前に学習したデータを元に、多角的に内容を分析し、レポートを自動で生成します。

□ 独自技術「レビューAI」について (<https://www.jurio.jp/review-ai>)

不足している論点

AI レビューコメント

AI 書き換え候補

無視
書き換え

AIによる 文書の問題点指摘・改善提案

POINT

- 行政ガイドラインや社内規定に照らして、不足している論点を自動指摘。
- 表現や構成、根拠の提示など、改善すべき箇所を特定し、具体的な根拠を提示。
- 改善案として代替文を自動生成。ワンクリックで本文を書き換え可能。

大量文書の高速レビュー

POINT

- AIによる自動レビューで、大量の文書を短時間で効率的にチェック。
- ベテランの属人的なノウハウをAIに蓄積し、全社的な知識共有を実現。

(注)セキュリティインシデント対策

「AI」が生成した文書は、必ずしも正確な内容とは限りません。また、AIが生成した文書は、必ずしも正確な内容とは限りません。また、AIが生成した文書は、必ずしも正確な内容とは限りません。

変更前	変更後
この手順は、当社における不慮の災害や事故等により重大な損害を被り、事業の遂行が果たせなくなった場合に、各事業部の中断範囲と被災期間を縮小すると共に、迅速かつ効果的に必要な業務の再開を行うことにより顧客への影響を最小限にとどめ、かつ経営上の損失を最小限とすることを目的とする。	この手順は、不慮の災害や事故により事業が中断した場合、業務の中断範囲と期間を最小限に抑え、迅速に必要な業務を再開することで顧客と経営への影響を最小限にすることを目的とします。
ISMS組織で行われる事業継続の管理に適用する。	この手順は、当社の ISMS (情報セキュリティ管理システム) 組織内で行われる事業継続管理に適用されます。
組織全体を通じて事業継続のための活動を展開し、かつ維持するための管理された手続きを整えておかねばならない。	組織全体で事業継続活動を展開し、維持するための手続きを策定し、管理する必要があります。

新旧対照表の自動作成

POINT

- 変更前後の内容を比較した新旧対照表を自動生成。
- 経営会議や取締役会での即時決議に必要な資料を瞬時に用意。

(一例)

<p>ビジネスモデル分析</p> <p>企業状況などを評価し収益性向上やリスク管理に役立つインサイトを抽出</p>	<p>財務分析と課題抽出</p> <p>財務状況の評価や潜在的な問題点を特定し、適切な対策を立案</p>	<p>融資先の月次モニタリング</p> <p>財務状況や経営パフォーマンスを解析し、月次でリスク評価を可能に</p>	<p>有価証券報告書のチェック</p> <p>財務データの整合性や株主・役員情報、文書の一貫性などを自動チェック</p>
<p>統合報告書の作成サポート</p> <p>非財務情報を中心に、統合報告書のコンテンツのドラフトを自動生成</p>	<p>補助金申請書の文章作成</p> <p>補助金申請に必要な各種文章を、少量の文章を元に提出可能なレベルに整形</p>	<p>税務判例の要約と分析</p> <p>裁判所の判例文から、AIが自動で要点を整理し、要約や解釈の分析を実施</p>	<p>債権・債務の分析</p> <p>過去データから債権・債務を分析し、AIがリスク評価と管理、改善策を提案</p>

<ジュリオ株式会社 会社概要>

代表者：代表取締役 姥貝 賢次

所在地：東京都品川区西品川1丁目1番1号

設立：2021年3月1日

事業：生成AI事業（コンサルティング/システム開発）

URL：<https://www.jurio.jp/>（コーポレートサイト）

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>
インベストメント部・川埜
TEL (058) 264-5516